

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月24日 更新

事務事業名		パーク＆ライド事業				マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連	
総合	政策	1 人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	政策部	課長名	大茂 竜二		
計画	施策	4 公共交通の充実				所属課	企画課	担当者名	吉田 健悟		
体系	施策の柱	12 公共交通の利便性の向上				所属班	企画広報班	(内線)	1254		
予算科目	会計一般	款2	項1	目11	事業連番11468	根拠法令					成果優先度評価結果：⑤ コスト削減優先度評価結果：⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (～ 年度)							

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	国道3号熊本北バイパス高架下の新須屋駅に隣接して整備したパーク＆ライド駐車場を運営・維持管理する事業である。整備規模は、アスファルト舗装約2,300m ² 、収容台数72台である。施設内には照明設備を有し、平成21年7月から合志市地域公共交通計画に基づく実証実験として運用を開始した。北バイパス新須屋駅周辺は、合志市総合計画にある交通結節点強化事業の一つとして位置づけられ、熊本都市圏都市交通アクションプログラムにおいても交通結節点としての機能強化が謳われている。平成20年3月の国道3号熊本北バイパスの供用開始にあわせ、平成19年8月に熊本電鉄が新須屋駅を北バイパス高架下へ移設した。国道3号熊本北バイパスの全線開通と路線バス運行や本市公共交通事業が本格化することにより、さらに南部の交通結節点として重要性が高まると考えられ、駅利用者の利便性向上とエコ通勤、交通渋滞緩和を目的として本駐車場を整備した。
【業務の流れ】	施設の運営・維持管理と利用啓発活動を行なう業務である。
【主な予算費目】	特になし
【意見や要望】	市道須屋線の交通規制により、当該施設へのアクセスが不便との意見があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分 28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	・熊本電鉄による施設の運営、維持管理に対する報告処理を行った。 ・熊本都市圏協議会と連携して啓発事業（街頭での啓発グッズの配布）を実施した。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) →ア協議と啓発活動の回数	(単位) 回 イ 予算の主な増減の理由 ・予算計上なし
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	(単位) 人 イ ②対象指標(対象の大きさを表す指標) →ア利用者数 イ 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) バス・電車の利用がしやすくなる。	(単位) % イ ③成果指標(意図の達成度を表す指標) →アP & Rの利用率 イ % 人
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 ・パーク＆ライドの利用率が向上することは、電車が利用しやすくなる意図の向上に結びつくため。	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
① 活動指標	ア回	イ		20	20	20	20	20	20	20	20
② 対象指標	ア人	イ		46	37	62	40	62	62	62	62
③ 成果指標	ア%	イ		74.2	59.7	90	64.5	90	90	90	90
投 費 量	事 業 財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正規職員従事人数	人		3	3	2	1	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間		61	4	9	50	50	50	50	50
	(B)人件費計	千円		243	15	35	185	199	199	199	199
	トータルコスト(A)+(B)	千円		243	15	35	185	199	199	199	199

事務事業名	パーク & ライド事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (C H E C K)

* 原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した ・熊本電鉄による施設の運営、維持管理に対する報告処理を行った。 ・熊本都市圏協議会と連携して啓発事業（街頭での啓発グッズの配布）を実施した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗ ⇒【理由 ↗
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗ ⇒【目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗ 御代志方面からのアクセス路線である須屋線の改良が終わり、朝の交通規制が解除されれば、利用者の増加が見込まれる。	
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗ ⇒【理由 ↗ 対象指標である利用者数の増は、成果指標である利用率に直結するため、周知啓発活動をさらに工夫して実施すれば成果の向上余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由 ↗ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗ 市が駐車場の整備・設置を行い、管理運営については駅管理者である熊本電鉄が行っていることから、すでに連携して事業を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗ ⇒【理由 ↗ 事業費がないため削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗ ⇒【理由 ↗ 必要最低限の人員・業務時間数で実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗ ⇒【理由 ↗ 事業については、広く市民より利用者を募っている。 月額500円の利用料負担であるが、公の施設として市で管理するようになった場合は、維持管理費の状況に応じて利用料の見直し行なう必要がある。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗ ⇒【理由 ↗ すでに管理運営については、熊本電鉄に委託している。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗

3 評価結果の総括 (C H E C K)

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善
事業のやり方改善（効率性改善 事業のやり方改善（公平性改善
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない

引き続き維持管理および利用啓発を行う

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成 果	コス ト		
	削 減	維 持	増 加
向 上			
維 持			
低 下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策